

●Dr. FAN JIAN-TING

<Profile>

Nationality: China

Educational Background in Japan:

April 1996 - March 1998: Hitotsubashi University,
Graduate School of Economics (Master course)

April 1998 – May 2003: Hitotsubashi University,
Graduate School of Economics (Doctor course)

Major Field: Economics

Present Institution / Status:

Shanghai University of Finance and Economics/ Associate
Professor



関東学院大学の研究室にて研究

<Follow-up Research Fellowship>

Period: June 26, 2009 - August 27, 2009 (63 days)

Host University: Kanto Gakuin University

Theme of Research

中国に進出した日系企業の経営現地化問題－欧米企業との国際比較を通じて－

Outline of Research

日本企業の中国進出が90年代から本格化しているが、多様な問題を抱えており、特に経営の現地化の遅れが目立っている。同じ土俵なのに、なぜ日本希魚の現地化が欧米企業に遅れているのか、その現状と原因を検証することが本研究の主な目的である。

Results of Research

- (1) 日本企業の海外進出動向、経営現地化問題を分析する枠組みができた。
- (2) 研究に必要な資料やデータなどを収集した。
- (3) 今後の新しい共同研究の基礎が作れた。

Further Research Plan

在中国の日系製造業企業を対案にアンケート調査を実施し、人材育成、「ヒト」の現地化、技術移転などの現状を明らかにし現地日系希魚の経営現地化に影響を与える決定要因を実証する。

● Research Advisor: Professor KUBO Shinichi

Theme of Research

中国に進出した日系企業の経営現地化問題－欧米企業との国際比較を通じて－

Outline of Research

範建亭氏には関東学院大学大学院経済学研究科の文科省社会連携プロジェクト「海外進出企業の経営現地化と地域経済活性化の研究(2006年～2010年)」の中国側協力研究員のメンバーとして参加いただいている。今回の短期留学中は、本プロジェクトの研究に加わって貰い、研究報告を2度行っていただき大きな研究成果と研究交流を行うことが出来た。特に進出日系企業の経営現地化の遅れについて欧米企業との比較を踏まえた研究は注目をあびた。

Results of Research

本人の努力もあって、以下の研究成果があった。

- (1) 日系企業の海外進出動向、経営現地化問題を分析する枠組みが出来た。
- (2) 研究に必要な資料(文献・データ)などが収集出来た。
- (3) 今後の新しい共同研究の基礎を築くことが出来た。

Further Research Plan

引き続き経営現地化問題に取り組む。

在中国の日系製造業企業を対象にアンケート調査を行い、人材育成、人の現地化、技術移転などの現状を分析し、現地日系企業の経営現地化に影響を与える決定要因を明らかにする。日本側のプロジェクト研究員が在中日系企業調査を実施する際には、調整に協力する。



渥美奨学財団の研究会に参加



関東学院大学の研究会にて報告